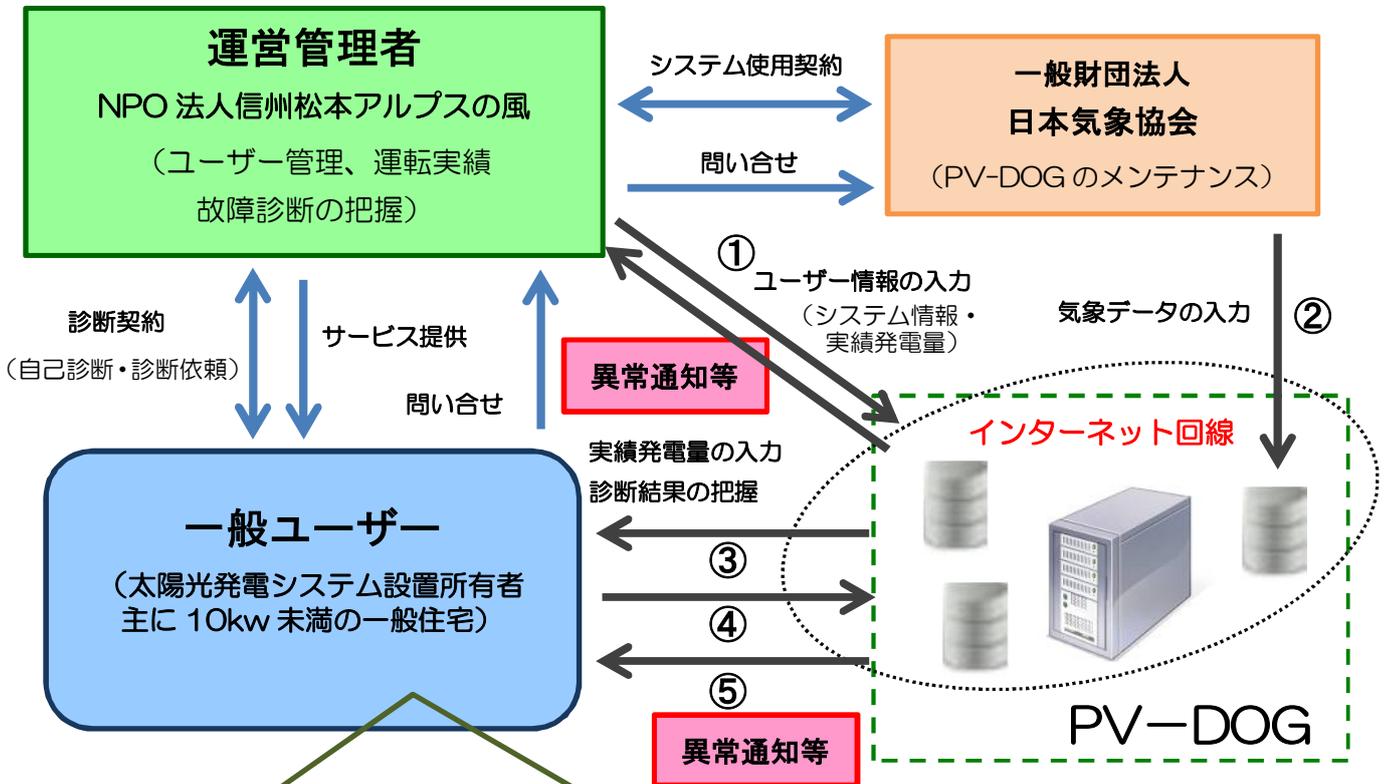


太陽光発電簡易診断システム「PV-DOG」を活用した発電安心プロジェクト

〈 取り組みの全体スキーム 〉

主体：NPO法人信州松本アルプスの風

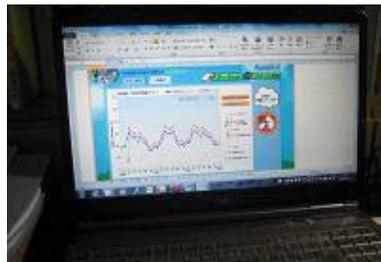
「一般ユーザー」と「日本気象協会」及びNPO法人(運営管理者)の役割



パソコン・携帯電話へ
ID・パスワードを入力
当該月の実績発電量を入力

診断結果の表示
診断結果の把握

(図 a)



発電量の低下 (不具合が疑われる) ⇒ 改善へ (精密点検・交換など)

- ① 最初に、「運営管理者」が、「一般ユーザー」のPVシステムのユーザ情報（メールアドレス、太陽電池パネルの方位、傾斜角、出力等）を登録します。
- ② 日本気象協会では、「一般ユーザー」のPVシステムからの「期待発電量」の算出に用いる気象データを毎月整備、更新します。なお、気象データは、毎月の10日前後に更新されます。
- ③ 入力忘れを防ぐために、入力を促すメールが毎月、「一般ユーザー」の携帯電話等に届きます。
- ④ 「一般ユーザー」には毎月1回、「月合計の実績発電量」をパソコンや携帯電話から入力して頂きます（図 a 参照）。
- ⑤ 「実績発電量」と「期待発電量」を比較することによって、PV システムが正常に稼働しているかの簡易診断結果が「一般ユーザー」及び「運営管理者」に通知されます（図 a 参照）。